

# 第12回もがみがわ水環境発表会プログラム

【平成28年11月5日（土）】

10:00 開会のあいさつ **多目的ホール**

○口頭発表セッションⅠ 10:05 ~ 11:00

座長：安部悦子（山形県環境科学研究センター）

K-1 馬見ヶ崎川におけるシロザケの遡上について

○吉野凌太、○田中鼓哲、○鈴木智大、○佐藤翔音  
（日本大学山形高等学校 生物部）

K-2 大沼浮島の探求 2015～断層形成の観察～

齊藤巧、森大地、柴田健登、佐竹和也、藤原和樹、佐藤颯人、○高橋真弓、  
○鈴木風磨、○清野優矢（山形県立山形中央高等学校 生物部・化学部）

K-3 水生植物ヒシモドキの生息域外保全・遺伝資源の保存に関する研究

－人工栽培法と無菌培養法の確立－

○佐々木丈流、熊澤拓哉、○笠井健弘、泉亮太  
（山形県立村山産業高等学校 農業部バイテク班）

○基調講演 11:00 ~ 12:50

進行・ファシリテーター：大岩敏男（美しい山形・最上川フォーラム）

「インドの川、日本の川」

講師：NPO「ブナの森」代表

元朝日新聞論説委員 長岡昇氏

日本の川はとてもユニークで清らかだ。インドの大河と比べることでそのユニークさと清らかさについて考えたい。川だけでなく、日本という国そのものが、実は世界の中でとてもユニークな存在であることを指摘したい。

－ ワークショップ形式を取り入れた意見交換会 －

○ポスターセッション 13:30 ~ 14:20 **マルチメディアホール**

【かべ新聞】

①川の生きものとまわりのようす

佐藤巨、遠藤脩馬、○えんどうじゅり、柏倉愛乃、森友夏（新庄なかよしクラブ）

②わたしたちの川 村山野川調べ

岡田真実、高橋愛結、伊豆田夕唯、小川心優、佐藤璃果、平山祥暉、大山諒成、神美優  
（東根市立大森小学校 第4学年）

【ポスター】

P-1 蔵王川・酢川の水質調査報告

大場麻未、○高橋結菜、伊藤優奈、今野海杜、遠藤拓光、會田浩史  
（山形県立上山明新館高等学校 科学・バイテク・食品加工部）

P-2 三つの川における3年間の環境変化について

遠藤拓光、○佐藤颯星、浦山賢

（山形県立上山明新館高等学校 科学・バイテク・食品加工部）

- P-3 水生植物ヒシモドキの生息域外保全・遺伝資源の保存に関する研究  
 ー人工栽培法と無菌培養法の確立ー  
 ○佐々木丈流、熊澤拓哉、○笠井健弘、泉亮太  
 (山形県立村山産業高等学校 農業部バイオテク班)
- P-4 バイオジオフィルターを用いた大山下池の水質浄化  
 ○永野若葉、梶原晶彦(山形大学農学部)、八鍬佑香(水土里ネット赤川)
- P-5 県内外の大学生による庄内海岸クリーンアップ活動「いぐべ、飛島。」5日間の報告  
 大谷明(美しいやまがたの海プラットフォーム 協働事務局 NPO法人パートナーシップオフィス)
- P-6 海づくり大会・山形庄内浜をふりかえり、漂着ゴミ除去に向けて  
 今野吉一(最上川故里ミュージアム)
- P-7 平成27年水質事故等の発生状況  
 佐藤吉朋(国土交通省新庄河川事務所)
- P-8 最上川中流部における水質悪化原因調査  
 田中恵子(山形県環境科学研究センター 水環境部)
- P-9 海岸漂着物問題啓発事業「スポGOMI大会」の実施状況  
 大泉茂(美しい山形・最上川フォーラム)

## ○口頭発表セッションⅡ 14:25 ~ 15:55 多目的ホール

座長: 田中恵子(山形県環境科学研究センター)

- K-4 酸性河川の起源がその水質におよぼす影響  
 ~吾妻連峰を起源とする松川および荒川を例として~  
 ○川口佑樹(山形大学工学部)、堀内航平(山形大学大学院理工学研究科)、  
 佐々木貴史(山形大学工学部)、遠藤昌敏(山形大学大学院理工学研究科)
- K-5 身近な川健康診断 大以良川と朴沢川の水生生物観察【平成18年~平成28年の記録】  
 ○東海林宗雪、阿部喜代子(茶道裏千家・富士見庵 東海林社中)、新庄市環境課
- K-6 溪流~河口における落葉堆積と生物相  
 ○工藤創(山形県内水面水産試験場)、古澤優佳(山形県森林研究研修センター)、  
 櫻井克聡(山形県水産試験場)
- K-7 山形県内の河川及び地下水の冬期間の寒暖による影響  
 大岩敏男(大岩環境技術士事務所)
- K-8 残留塩素が排水路の微生物に与える影響  
 長谷川冬波(一般財団法人山形県理化学分析センター)

15:55 閉会のあいさつ

※要旨(カラー版)は美しい山形・最上川フォーラムのホームページでご覧いただけます。

HP: <http://www.mogamigawa.gr.jp/>